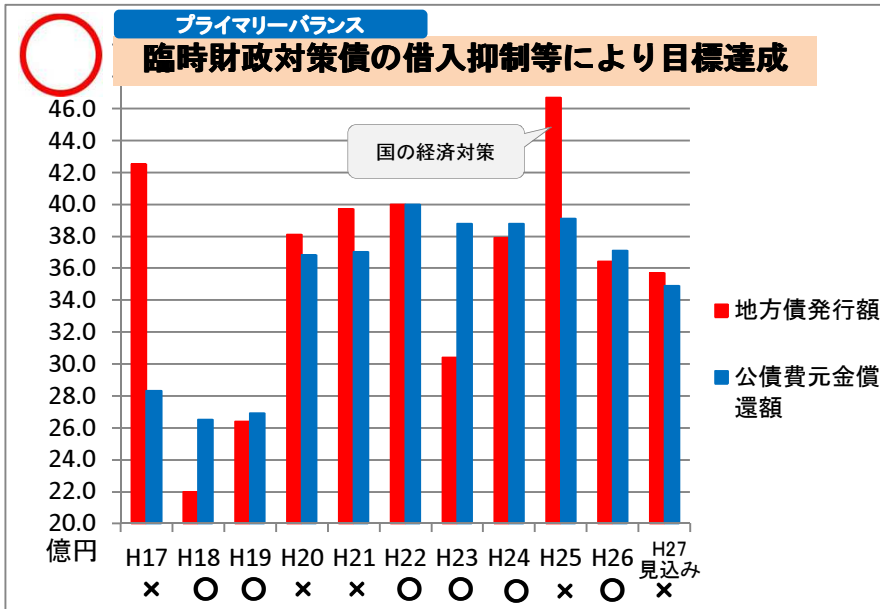


各種財政指標等の推移【平成26年度決算状況】



健全財政確保のための目標

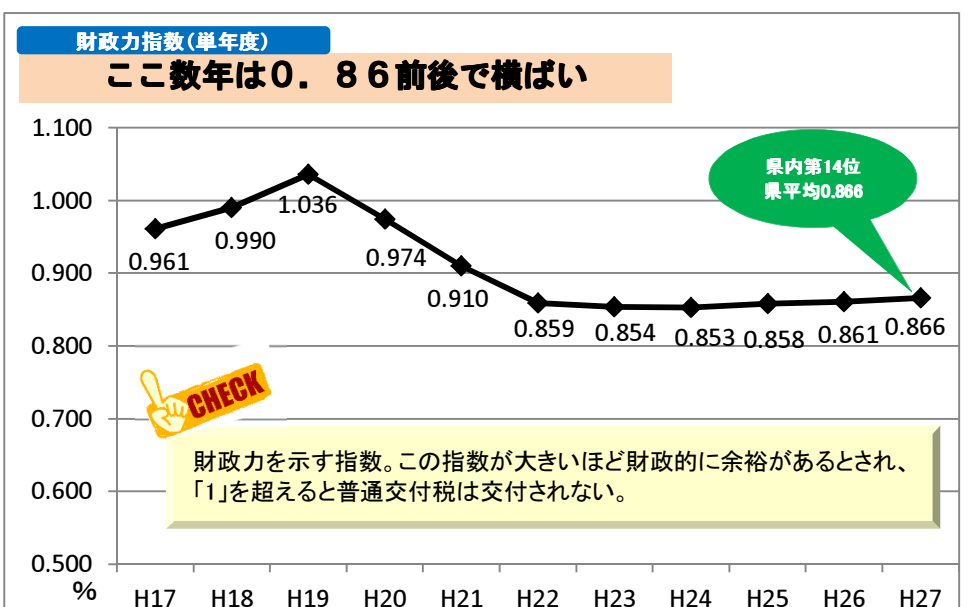
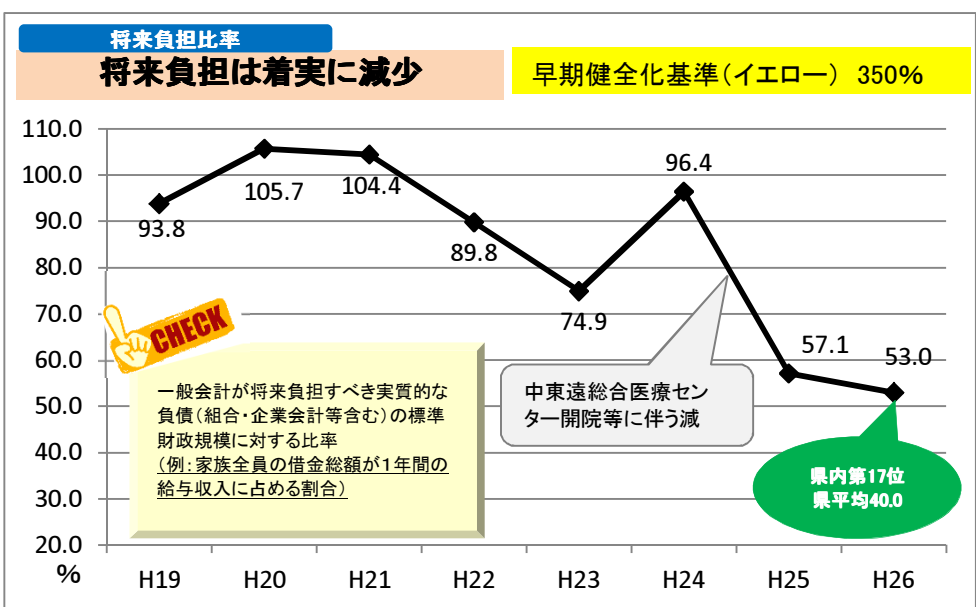
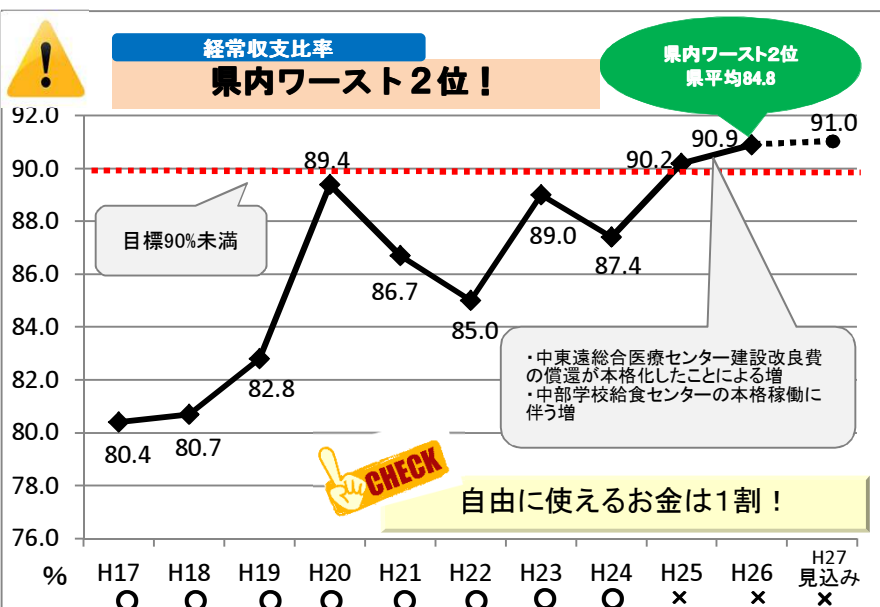
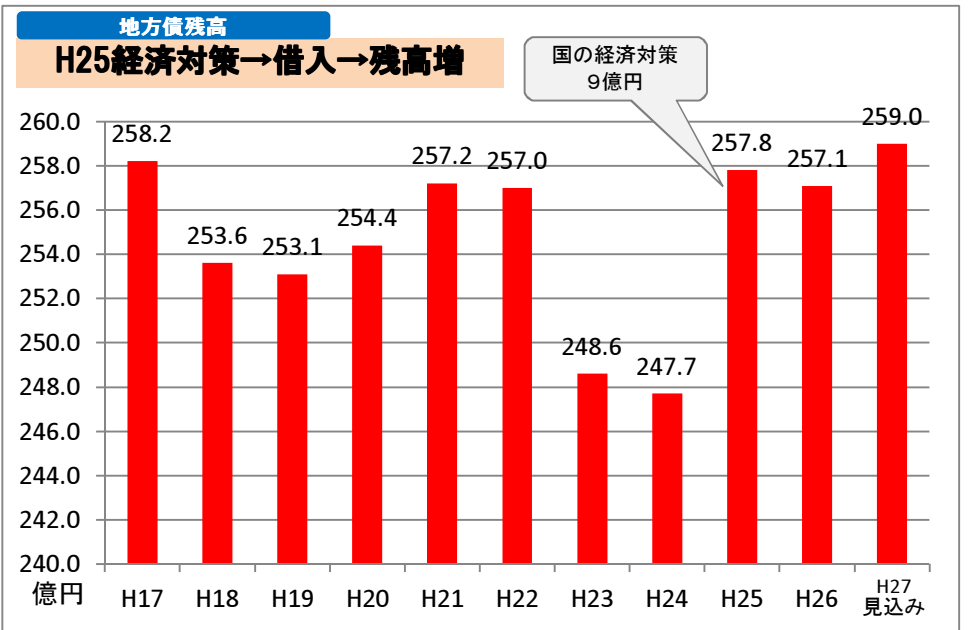
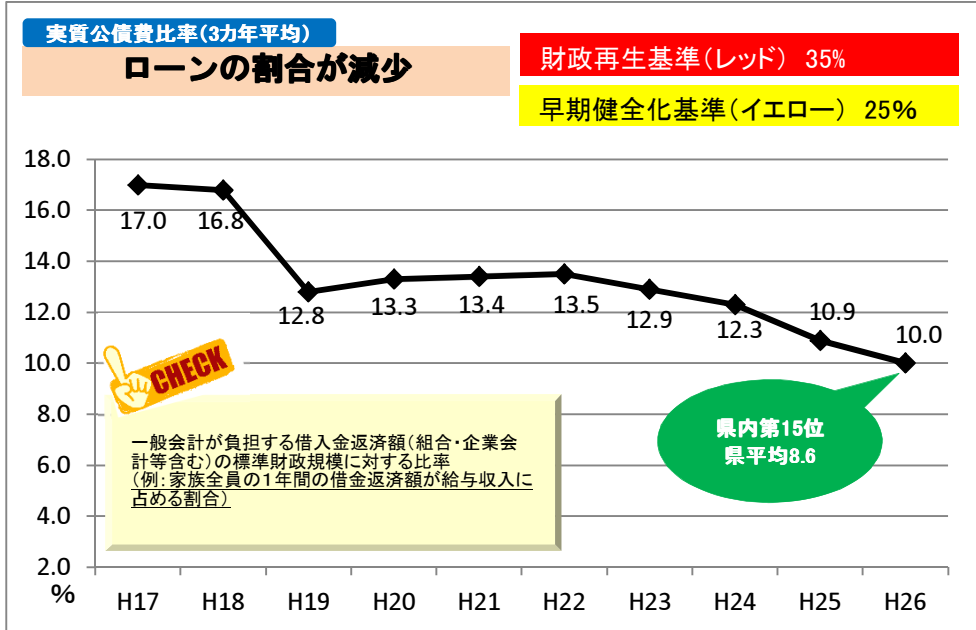
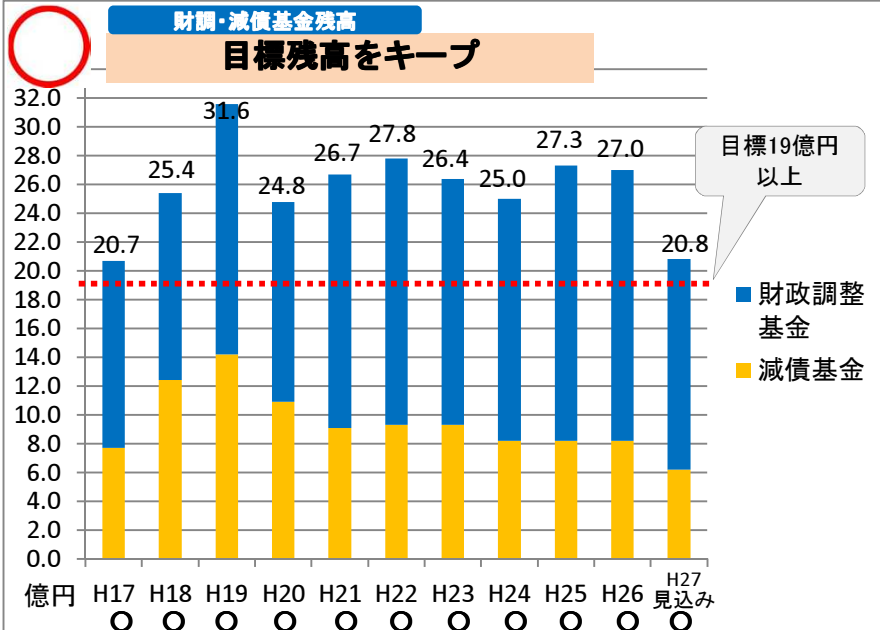
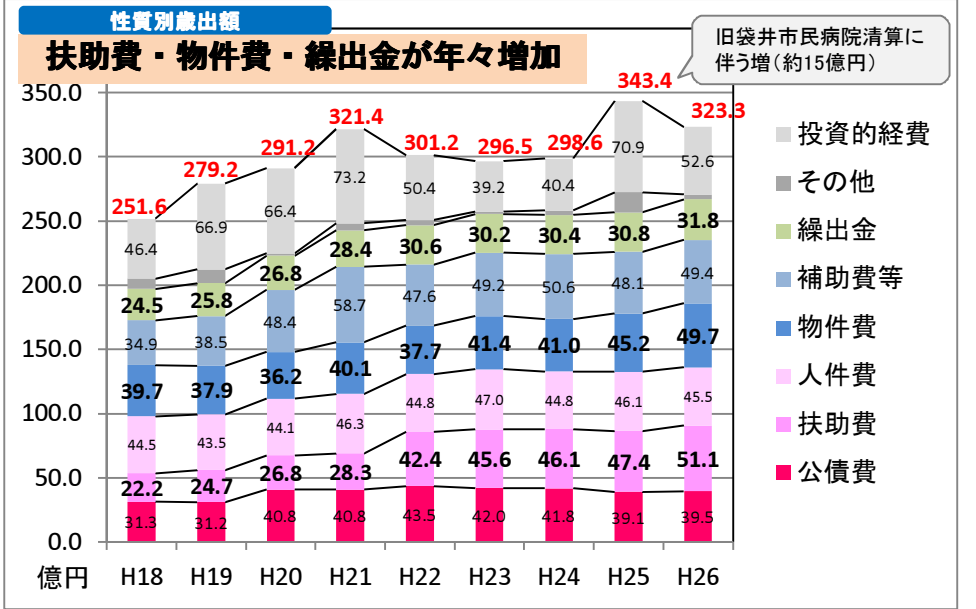
- 目標1 地方債発行額については、各年度の元金償還額以下とする。
- 目標2 基金残高(財政調整基金・減債基金)は、19億円以上とする。
- 目標3 経常収支比率は90%未満とする。

<H26決算の特徴点>

- ◇決算剰余金の活用などにより地方債の発行を抑えたことで、元金償還額を下回る借入額となった。
- ◇経常収支比率は、中東遠総合医療センター建設改良費の償還が本格化したこと、また、中部学校給食センターの本格稼働に伴う増などにより、対前年比0.7ポイント増加。

<性質別の主な増加項目(H18年度対比)>

- ◇扶助費28.9億円(130.2%増) 児童手当・生活保護費等、社会保障制度に伴う増
- ◇物件費10.0億円(25.2%増) 新たに整備した施設のランニングコスト等による増
- ◇繰出金7.3億円(29.8%増) 高齢化等に伴う国保・介護特別会計への繰出金の増



※県内順位・平均・・・県内の21市(浜松市・静岡市除く)